

## 事業計画書

事業名	じん3プロジェクト
実施場所	D-village〒410-0873 静岡県沼津市大諏訪837-2
実施予定期間	※イベントや研修会等の当日だけでなく、準備期間・実績の取りまとめ期間等も含めて記載して下さい。 2019年 4月 1日 ~ 2020年 3月 31日

## ◎事業概要

※事業の概要を100~200字で簡潔に記載して下さい(事業の紹介などで使用します)。

沼津市に「芸術と文化の分野で貢献」できる仲間作りを目的とし、セミナーやワークショップを開催して、協働人材の育成を目指します。

## ◎目的

※何を目的として実施する事業であるか(事業を行うきっかけ(地域の問題点や課題、社会背景など)や、課題解決のためにどんなことが必要と考えるか)を記載して下さい。

沼津市の発展を願い、「芸術と文化の分野で貢献」できる仲間作りをすることを目的とします。

沼津市では様々なイベントやプロジェクトが立ち上がっていますが、それぞれが連携しあい相乗効果を上げていないのではないかと感じたことがきっかけです。

そのためには、「芸術と文化の分野で貢献できて、それを支える人材の育成が必要なのではないか？」という考えにいたりました。

その考えに賛同していただける人を集めて、それぞれの参加者の思いを語り合う沙龙的な場所を作ろうという事業です。

「じん3」とは、ワークショップの方法を象徴化した名前です。参加者それぞれの人生の文化芸術に関することで大事にしている3つのことを、発表し共有することで会員同士の才能を引き出し、活用できるような議論を進めていきます。まずは、その人材育成をしつつシンクタンクを作る方向性を持った交流サロンとして運営し、自立連帯型の組織運営ができることを目指します。

◎実施内容

日 程	実施項目・作業項目
	<p>※イベントや研修会等の行事日程だけでなく、実施内容(打合せ・会議・資料作成・参加者募集・準備・検討会)、実施場所、参加対象、人員配置、役割分担など、事業期間すべてにわたる実施内容を記載して下さい。</p> <p>2019年</p> <p>4月・会の運営方法などの打ち合わせ会議</p> <p>5月・参加者募集の要項決定と資料作成準備</p> <p>6月・参加者募集案内書作成</p> <p>7月・セミナー開催講師選定会議</p> <p>8月・セミナー開催募集チラシ作成</p> <p>9月・セミナー募集開催</p> <p>10月・セミナー開催</p> <p>11月・第1回じん3ワークショップ</p> <p>12月</p> <p>2020年</p> <p>1月・第2回じん3ワークショップ</p> <p>2月・次年度以降の事業会議</p> <p>3月</p> <p>□セミナー講演会講師案リスト：</p> <p>元大岡信ことば館館長 岩本圭司氏</p> <p>代官山商店会会長 矢野 恒之氏</p> <p>元ヴァンジ彫刻庭園美術館小川洋輔氏</p>

◎事業効果

※事業の実施により、期待される効果を記載して下さい。			
<p>芸術と文化の分野で貢献するシンクタンクとしての仲間作りからの人材育成。</p>			
成果指標	※事業効果を客観的に評価できるよう、具体的な数値等を用いて成果指標を設定して下さい。	指標の検証方法	※左記指標の検証方法を記載して下さい。
	<p>参加者数</p> <p>開催回数</p>		<p>写真及び議事録</p>

◎評価の視点に合致していることの説明 ※評価の視点については、募集の手引きを必ず確認して下さい。

<p>公益性</p> <p>・</p> <p>必要性</p>	<p>※公益性：地域のまちづくりの推進に如何に寄与できるのか、不特定多数の市民の利益にどうつながるのか等について記載して下さい。</p> <p>※必要性：事業を実施する意義や、本ファンドによる助成が有益で質の高い事業展開につながる理由を記載して下さい。</p> <p>(公益性)「芸術と文化の分野で貢献」を市民に意識していただくことで、沼津の良さを集約して発信できる環境を作り沼津市のブランドを向上させ市民の利益に繋がると考えます。</p> <p>(必要性) 沼津市には現在、芸術と文化の分野での、共通理念が存在しないが故に、各種様々なイベントが立ち上がっても統一したイメージができず分散化してしまっているように思います。そのため、そのような人材を育成する必要性があると考えます。</p>
--------------------------------	--

地域性	<p>※地域の実状と課題をどう捉え、事業を行うことによってどのように課題を解決するのか、また、地域の特性や地域資源をどのように活かしたか、などについて記載して下さい。</p> <p>沼津市としての地域資源の豊富さゆえ、まちづくり事業をする人たちが単体の動きが中心になってしまい、横のつながりでまとまった動きができないという地域性があります。本事業によって事業間の人材の横のつながりを形成することで、各プロジェクト単体の動きから全体の連携ができるようなネットワークを活用してそれぞれのプロジェクトを活性化できる方向に向かうことができると考えます。</p>
先導性	<p>※事業の新規性や独自性など、新たにチャレンジする点、工夫した点などについて記載して下さい。</p> <p>セミナーを主催しワークショップを開催するだけでなく、行政に提言できるシンクタンク的な機能を持ったネットワークを構築していこうとすることが、新たに工夫しチャレンジする点です。</p>
発展性 ・ 継続性	<p>※発展性：活動の広がりや波及効果がどのくらい見込め、地域の発展・活性化につながるのか記載して下さい。</p> <p>※継続性：本ファンドによる助成終了後も継続的・自立的な活動とするために、事業実施体制や活動資金の確保などによりどのように取り組んでいくのかについて記載して下さい。</p> <p>初年度は参加者の募集と、第1回のセミナー開催の後、2回の開催を目標とします。ワークショップから、つながりのなかった人たちが繋がることを見込めます。今までの経験から新しい何かが生まれることは予測できます。</p>
実現性 ・ 妥当性	<p>※実現性：事業目的と事業内容は合致しているか、実現のために事業内容、予算の積算、自己資金の準備、スケジュール等について工夫した点を記載して下さい。</p> <p>※妥当性：各種法令順守、関係者との調整状況、費用に対する事業効果の妥当性について記載して下さい。</p> <p>発起人の二人が現在、活動している中での現存するネットワークや、保有する施設を利用することで、経費の軽減と専門講師の開拓コストを抑えて、活動できる準備は整っています。</p>
活動に 対する 熱意	<p>※活動の動機、活動に対する意欲・熱意について記載して下さい。</p> <p>沼津の様々な団体や文化的な財産を結び付けられる上下関係のないフラットな組織として存在し、各種プロジェクト間の調整連携役になれるようなシンクタンク的なサロンを目指します。初年度はその土台作りを行います。5年後10年後には個人では呼べないような一流文化人や芸術家をお呼びし、沼津市民に芸術と文化度の向上を意識できるような様々な取り組みを企画したいと思っています。</p>

### ◎次年度以降の活動予定

※ソフト部門（ステップアップ型）新規または2回目の応募で、助成の継続（最大3年まで）を希望する場合は、今後の活動予定と事業継続のための戦略について記載して下さい（今回の応募が次年度以降の助成を約束するものではありません）。

次年度は初年度と基本的には同じ内容を継続できることを目指して、第2回目のセミナーを開催し、ワークショップの回数を増やしていく予定です。